ダム建設通信

第２０号（2013. 5）

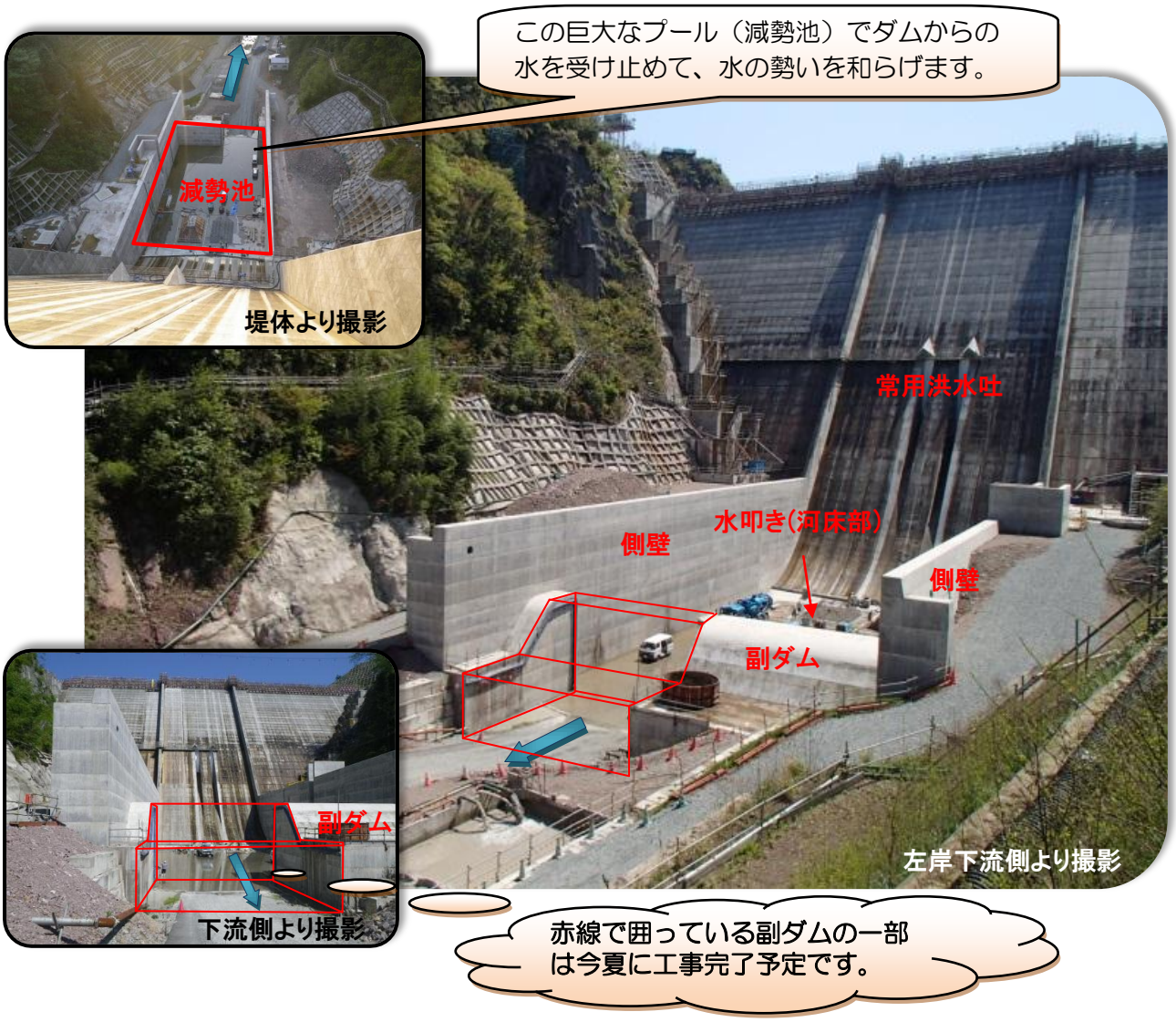
浜田川総合開発事業（第二浜田ダム建設、浜田ダム再開発）

第二浜田ダム減勢工（げんせいこう）の施工を行っています

ダムによってせき止められた水を、高い場所から放流するときには、大きなエネルギーが発生するため、そのまま水をダム下流に流すとかなりの勢いで流れる水によって、河川を破壊することになってしまいます。そのため、ダムを建設するときには、ダムからの水の勢いを和らげる「減勢工」と呼ばれる施設をダム本体の下流側に設置します。

減勢工は側壁、河床部の水叩き及び下流端部の副ダム等で構成され、巨大なプール（これを減勢池といいます）により水の勢いを和らげるものです。第二浜田ダムの減勢池の大きさは長さ４５ｍ×幅３０ｍ×高さ８ｍほどあり、これは２５ｍプール（幅１５ｍ深さ、１．５ｍ）の約１９杯分の容量となります。

現在、減勢工は側壁と水叩き、副ダムの一部が完成していますが、平成２５年の夏頃には残りの副ダムの工事も完了する予定です。



構造物の一部を製品化して施工効率を向上させています

第二浜田ダムでは、点検のための監査廊、エレベーター及び放流のための常用洪水吐きなどの構造物を計画していますが、このような部分は鉄筋が複雑に配置され、型枠の設置にも大変手間がかかる構造となっています。

このため、第二浜田ダムの現場においては、この構造物の一部をコンクリート製品工場等であらかじめ製作して、現地ではこの製品を設置するだけで済むようにして、施工効率を向上させる工夫をしています。

鞍部ダム天端高欄設置状況

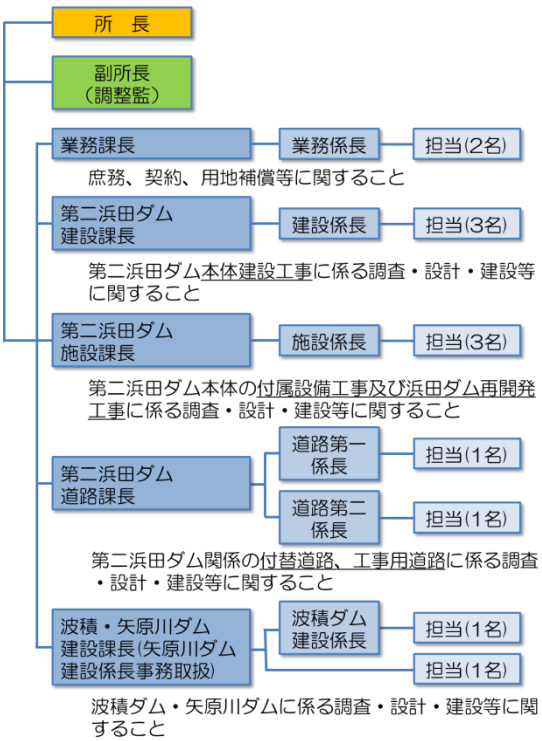
本体ダム監査廊設置状況

＜第二浜田ダムにおける製品化の例＞
- 監査廊（本体ダム内部の管理用通路）
- エレベーターシャフト
- 天端道路の高欄（本体ダム、鞍部ダム）
- 常用洪水吐（洪水調節用の放流設備）

職員の紹介

平成２５年度の浜田河川総合開発事務所の体制は右図のとおり２５名により４ダム（第二浜田ダム、浜田ダム再開発、波積ダム、矢原川ダム）の事業を担当します。

今年度もよろしくお願いします。



お問い合わせ先

安心して暮らせる浜田のために！　島根県浜田河川総合開発事務所

〒697-0041 島根県浜田市片庭町 254
TEL 0855-29-5760　FAX 0855-29-5772
http://www.pref.shimane.lg.jp/hamadakasen/
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：hamadakasen@pref.shimane.lg.jp